



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社グラッドキューブ 上場取引所 東  
 コード番号 9561 URL <https://corp.glad-cube.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役 CEO（氏名） 金島 弘樹  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 CFO（氏名） 西村 美希（TEL）06-4400-2188  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年12月期第1四半期の業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	394	—	111	—	114	—	73	—
2022年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	9.01	8.63
2022年12月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2022年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,839	1,390	49.0
2022年12月期	2,908	1,316	45.3

（参考）自己資本 2023年12月期第1四半期 1,390百万円 2022年12月期 1,316百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,486	0.4	345	△25.2	345	△24.1	224	△24.4	27.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	8,136,000株	2022年12月期	8,136,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	一株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	8,136,000株	2022年12月期 1 Q	一株

- (注) 1. 当社は、2022年6月11日付で普通株式1株につき6株の割合で株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。
2. 当社は、2022年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(セグメント情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期累計期間末日現在において当社が判断したものです。

当第1四半期における日本国経済は、新型コロナウイルス感染症の新たな段階への移行が進められる中、経済活動が緩やかに正常化されてきました。一方では、ウクライナ情勢等によるエネルギーコストや原材料価格の上昇が個人消費に与える影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するIT業界においてはDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を背景に追い風が吹いており、企業のマーケティング活動のデジタル化が加速するなど、当社の主力事業が属するインターネット広告市場におきましては、更なる拡大に向けて進展しております。

このような状況下、当社では前事業年度に引き続き、サイト解析ツールの機能拡充、動画制作体制の強化、競馬予想AIのサービス拡大、オンラインセミナーの実施、YouTubeチャンネルでの発信等、拡大を続けるインターネット広告市場と、インターネット利用者のニーズに応えるべくソリューションを提供してまいりました。

この結果、当社の当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高394,098千円、営業利益111,937千円、経常利益114,879千円、四半期純利益73,333千円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ① SaaS事業

当第1四半期累計期間において、「SiTest（サイテスト）」のツール販売だけでなく、SiTestを活用したコンサルティングや付随する解析サービスの提供を行ってまいりました。また、関連するサービスである、ウェブサイトやランディングページの制作において、順調に売上が推移したことも1つの要因となり、当初売上計画を上回る結果となりました。この結果、当第1四半期累計期間における売上高は174,578千円、セグメント利益は116,322千円となりました。

#### ② マーケティングソリューション事業

インターネット広告市場及び動画広告市場の拡大がしている中、当社は新規案件の獲得や大型の広告予算案件を多く受注することができ、当初売上計画を上回る結果となりました。この結果、当第1四半期累計期間における売上高は191,153千円、セグメント利益は106,019千円となりました。

#### ③ SPAIA事業

前事業年度に引き続き、サービスの価値向上のための開発に注力しており、有料会員数は減少いたしましたが、マーケティング施策により無料会員は順調に増加しています。この結果、当第1四半期累計期間における売上高は28,367千円、セグメント損失は44,739千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は2,839,419千円となり、前事業年度末に比べ68,650千円減少いたしました。これは主に法人税の納付等による現金及び預金の減少212,127千円、投資事業組合への出資による投資有価証券の増加89,257千円、売掛金の増加86,236千円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は1,449,112千円となり、前事業年度末に比べ141,983千円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少63,311千円、長期借入金の返済による減少32,831千円、社債の償還による減少20,000千円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,390,307千円となり、前事業年度末に比べ73,333千円増加いたしました。これは、利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。また、新型コロナウイルス感染症の影響については軽微であります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,158,234	1,946,106
売掛金	414,423	500,660
貯蔵品	139	—
前渡金	160,821	128,501
その他	34,089	32,327
貸倒引当金	△2,855	△285
流動資産合計	2,764,852	2,607,311
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	20,831	20,831
減価償却累計額	△7,000	△7,354
建物附属設備(純額)	13,830	13,476
工具、器具及び備品	4,686	5,176
減価償却累計額	△3,054	△3,227
工具、器具及び備品(純額)	1,631	1,948
有形固定資産合計	15,461	15,425
無形固定資産		
ソフトウェア	56,009	71,026
ソフトウェア仮勘定	15,407	6,495
無形固定資産合計	71,417	77,522
投資その他の資産		
投資有価証券	—	89,257
長期前払費用	3,178	2,909
繰延税金資産	24,736	19,651
その他	20,123	19,743
投資その他の資産合計	48,038	131,562
固定資産合計	134,916	224,509
繰延資産		
株式交付費	6,244	5,669
社債発行費	2,055	1,929
繰延資産合計	8,300	7,599
資産合計	2,908,069	2,839,419

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	394,835	393,394
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	139,121	133,979
未払金	171,655	153,877
未払費用	62,032	59,816
未払法人税等	106,258	42,946
未払消費税等	41,912	50,507
契約負債	177,622	172,653
その他	24,897	22,006
流動負債合計	1,158,334	1,069,182
固定負債		
社債	140,000	120,000
長期借入金	292,761	259,930
固定負債合計	432,761	379,930
負債合計	1,591,095	1,449,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,890	369,890
資本剰余金	359,853	359,853
利益剰余金	587,229	660,563
株主資本合計	1,316,974	1,390,307
純資産合計	1,316,974	1,390,307
負債純資産合計	2,908,069	2,839,419

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	394,098
売上原価	30,605
売上総利益	363,493
販売費及び一般管理費	251,555
営業利益	111,937
営業外収益	
受取利息	10
受取手数料	1,881
債務勘定整理益	3,794
その他	312
営業外収益合計	5,999
営業外費用	
支払保証料	486
支払利息	871
社債利息	59
投資事業組合運用損	675
その他	965
営業外費用合計	3,057
経常利益	114,879
税引前四半期純利益	114,879
法人税、住民税及び事業税	36,461
法人税等調整額	5,084
法人税等合計	41,546
四半期純利益	73,333

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。なお、当第1四半期累計期間の四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	SaaS 事業	マーケティング ソリューション 事業	SPAIA 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	174,578	191,153	28,367	394,098	—	394,098
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	174,578	191,153	28,367	394,098	—	394,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	174,578	191,153	28,367	394,098	—	394,098
セグメント利益又は損失(△)	116,322	106,019	△44,739	177,602	△65,664	111,937

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△65,664千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。